

平成24年度 科学研究費助成事業（特別推進研究）
追跡評価結果

研究課題名	ルイス酸・遷移金属触媒を用いる環境調和型分子変換プロセスの開拓
研究代表者名 (所属・職)	山本 嘉則（東北大学・原子分子材料科学高等研究機構・特別研究顧問）

【評価意見】

研究代表者らは、研究期間内に「ルイス酸・遷移金属触媒の優れた両機能性触媒能に基づく環境調和型分子変換方法論」を確立し、種々の有用な巨大ポリ環状エーテル系海洋産天然物の高効率合成への応用など、輝かしい研究成果を挙げた。研究期間終了後も、世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）東北大学原子分子材料科学高等研究機構の拠点長として不均一系触媒を活用した分子変換プロセスの開拓研究や、文部科学省先端研究施設共用イノベーション創出事業 ナノテクノロジー・ネットワークを基盤とした新物質創製研究において、革新的研究成果を数多く生み出すとともに、質の高い多数の研究論文・総説の執筆・発表や、各種国際会議等での多くの基調講演・招待講演を通じて、本研究の直接及び間接的な成果の情報発信に積極的に取り組んでいる。さらに、研究代表者による上記大型プロジェクトの推進過程に関わった優秀な若手・中堅の研究者が順調に成長し、国内外の優れた研究機関においてそれぞれに有為な人材として活躍していることは、人材育成面での成果として特筆に値する。研究代表者らによって達成された有機合成化学における数々の業績は、基礎化学的な面からのインパクトは既に各種論文発表の評価や受賞実績などから明白であるが、医学生理学的な面での波及効果については、現在進行中の研究も含め、社会的な応用段階での成果を待って評価したい。